JAPANESE

水痘ワクチン

あなたが知るべきこと

1 なぜワクチン接種を受けるのでしょうか？

水痘(別名水ぼうそう)は、普通の子供の疾患です。通常、症状は軽いのですが、特に小さな幼児や大人には重症な場合があります。

- 水痘ウイルスは空気を通してあるいは人から人へ屯染する、またはこの病気の水疱の液体に触れることによって感染する。
- 湿疹、痒み、発熱、疲労感を生じる。
- 重症な皮膚感染、傷跡、肺炎、脳障害、あるいは死亡することもある。
- 水痘に罹った人は、何年も経て帯状ヘルペスと呼ばれる痛みを伴う湿疹に罹る場合がある。
- 米国では毎年約12,000人が水痘のために入院している。
- 米国では毎年約100人が水痘が原因で死亡している。

水痘ワクチン接種は水痘を予防します。

水痘ワクチン接種を受けたほとんどの人が水痘に罹りません。しかし水痘ワクチン接種を受けたにもかかわらず、この病気に罹ってしまっても、通常症状は軽くすみます。幾つかの斑点ができるだけで、ほとんど発熱しないで、早く回復します。

2 水痘ワクチン接種を受けるべき人と時期は？

✔ 子供は生後12と18ヵ月の間、それ以降の年齢の人は一度も罹ったことがない場合に水痘ワクチン接種を1回受けるべきです。

13歳以上の人でワクチン接種を一度も受けたことがない人は、2回の接種を4-8週間離して受けてください。

詳細は主治医あるいは看護婦にお尋ねください。

水痘ワクチンは他のワクチンと同時に投与することがあります。

3 水痘ワクチン接種を受けるべきではないあるいは延期するべき人

- ゼラチン、抗生物質ネオマイシンあるいは前回の水痘ワクチン接種（二回目の接種が必要な人）に対して、生命に関わるアレルギー反応があった場合には、水痘ワクチン接種を受けるべきではありません。
- 接種が予定されている時に中度あるいは重度の病気の人は、病気から回復するのを待ってから水痘ワクチン接種を受けてください。
- 妊婦は出産をしてから水痘ワクチン接種を受けてください。また接種後1ヵ月間は避妊してください。
- 以下に該当する人は、水痘ワクチン接種を受けるべきかどうかについて医師と相談してください：
  - 免疫組織に影響のあるHIV/AIDSあるいは他の疾病に罹っている人
  - ステロイドなど免疫組織に影響のある薬物で2週間以上の治療を受けている人
  - あらゆる種類のガン
  - X線あるいは薬物で治療を受けている人
- 最近輸血あるいは他の血液製品を受けた人は、水痘ワクチン接種を受ける時に医師に相談してください。

詳細については主治医あるいは看護婦にお尋ねください。

4 水痘ワクチンの危険は何ですか？

あらゆる薬と同じように、ワクチンは重度のアレルギー反応のような深刻な副反応を引き起こす可能性があります。深刻な障害、あるいは死亡するなどの水痘ワクチンが引き起こす危険はほとんどありません。

水痘ワクチン接種は水痘に罹るよりもずっと安全です。

水痘ワクチン接種を受けたほとんどの人には、何の問題もありません。

軽度の副反応
- 接種を受けたところが痛む（子供5人に約1人、青年や大人3人に1人までの確率）
- 発熱（10人に1人あるいはそれ以下の確率）
- 接種後一ヵ月までの軽い発疹（20人に1人あるいはそれ以下の確率）。一緒に住んでいる他の人に感染する場合がありますが、非常に稀です。

中度の副反応
- 熱による発作 (痙攣や凝視) (1.000人に1人未満)。

重度の副反応
- 肺炎（非常に稀）

水痘ワクチン接種後、脳の反応や血液値の低下を含む他の深刻な問題が報告されています。これらはほとんど発生しないので、専門家は実際に接種によって起こったのかどうか言及することができません。例え発病するとしても、その確率は非常に低いものです。

5 中度あるいは重度の副作用がある場合には？

何に気を付けるべきでしょうか？

深刻なアレルギー反応、高熱や行動の変化など通常では見られない状態。呼吸困難、かれ声あるいはゼイゼイと息をする、じんま疹、蒼白、虚弱感、動きやめまいなどがあります。これらの副作用が起こる場合は、接種後数分から数時間以内です。高熱や発作は、もし起こるとすれば、接種後1から6週間後です。

DCH-0451J
AUTH: P.H.S., Act 42, Sect. 2126.

何をするべきでしょうか？

- 医師に連絡するか、大至急その人を医師のところに連れて行ってください。
- いつワクチンを受け、どんな症状がおこったか、症状が起こった時の日時を医師に報告してください。
- 医師、看護婦または保健局にワクチン災難報告用紙 (VAERS)を提出するよう頼むか、またはご自身でVAERSまで1-800-822-7967へ電話してください。

6 ナショナル・ワクチン接種障害賠償プログラム (The National Vaccine Injury Compensation Program)

ワクチン接種後に貴方や子供に深刻な副作用が出るという稀なケースの場合には、ワクチンによる障害を持つ人の看護のために資金を援助する連邦プログラムが設置されています。

ナショナル・ワクチン接種障害賠償プログラムの詳細については、1-800-338-2382へ電話するかプログラムのウェブ・サイトをご覧ください。
http://www.hrsa.gov/osp/vicp/

7 どうしたらもっと知ることができるでしょう？

- 主治医あるいは看護婦に尋ねてください。ワクチン接種に関する印刷物または他の情報源について教えてくれます。
- 地域または州の保健局の免疫プログラムに電話してください。 1-888-767-4687
- Centers for Disease Control and Prevention (CDC) (疾病コントロール及び予防センター) に連絡してください:
  - Call 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)
  - ナショナル免疫プログラムのウェブ・サイト http://www.cdc.gov/nip

CDC
CENTERS FOR DISEASE CONTROL AND PREVENTION

U.S. DEPARTMENT OF HEALTH & HUMAN SERVICES
Centers for Disease Control and Prevention
National Immunization Program

Vaccine Information Statement
Varicella IMM-494ML-Japanese (12/16/98) 42 U.S.C. § 300aa-26

Translated by Transcend Translations, Davis, CA

正確な予防接種状況、予防接種についての評価、今後の予防接種の推奨スケジュールを医療提供者に提供するため、情報は Michigan Care Improvement Registry (ミシガン幼児予防接種記録所)に送られます。予防接種情報が同記録所に送られないよう医療提供者に要請できる権利が誰にでもあります。